



～おはなしと絵本を楽しむ～



おはなしグループ「パルランド」通信

第18号

2020年12月

コロナ感染症対策のために、いろんな行事が中止され、図書館のおはなし会もお休みになっていました。30年以上続く図書館おはなし会で初めてのことでした。ようやく予防対策をして、ソーシャルディスタンスを保ちつつも、おはなし会が再開できたこと、何よりうれしく思います。

11月には、第2回目の「おとなのためのおはなし会」を図書館司書と一緒に開催することができました。また、小学校からのおはなし会の依頼も入るようになりました。これまで以上に、ひとつひとつのおはなしをひとりひとりに楽しんでいただけるように、丁寧に取り組んでいきたいと思ひます。



おすすめのおはなし

おそばのくきはなぜあかい

語り継がれた日本の昔話の中から、「なぜ」のおはなしが三つ。

「おそばのくきはなぜあかい」「おししのくびはなぜあかい」「うみのみずはなぜからい」

初版1954年、石井桃子さんの文章と、初山滋さんの絵が素晴らしい長く愛されている傑作です。

絵を見ながら読むのもよし、ストーリーテリングで耳から聞いても楽しい。寒い冬の心をあったかくしてくれる一冊です。



石井桃子文、初山滋絵
岩波の子どもの本
岩波書店



おすすめの絵本

ありがたいこってす！

昔、貧しい男が母親とおいかみさんと6人の子どもと一緒に小さな家に住んでいた。家がせまいので言い争いばかり。そこでラビ(ユダヤの博士)のとこりに相談に行きます。

ラビの思いがけない助言に驚きつつも、その通りにすると前よりももっとひどくなって、小さな家はもう、どうにもならなくなってしまいます。

とうとう堪忍袋の緒が切れた男に対して、ラビが言った言葉は…

生活感あふれる絵
ユーモアあふれる一冊。



マーゴット ツエマック著
わたなべしげお訳
童話屋出版



出張おはなし会(学校園)の記録

9月～11月実施

「アナンシと五」「おおかみと七ひきの子やぎ」
「金のとさかのおんどりと魔法のひきうす」「三まいのお札」
「二ひきのよくばり子グマ」「ねずみのすもう」「ホットケーキ」
「ゆうかんなくつなおし」「妖精の丘が燃えている」

子どもたちに語るおはなしを選ぶとき、聞いてくれる子どもたちの年齢や状況、季節感を考えて選びます。幅広い年齢の子どもたちにも楽しんでもらえるのは、やはり昔話です。

子どもたちはこわいおはなしが好きです。秋の定番昔話「三まいのお札」は今年も大活躍！

「知ってる～！」と嬉しそうに言って、しっかりとおはなしの世界に引き込まれて聞いてくれています♪



図書館大きな子のおはなし会

毎月第1土曜日 午前10時30分～
(30分程度)
おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など
※予約はいりません。お気軽にご参加ください
ただし図書館が休館のときはありません

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館(電話0795-23-5991)
パルランド 丸山(電話090-8930-0921)

パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

